

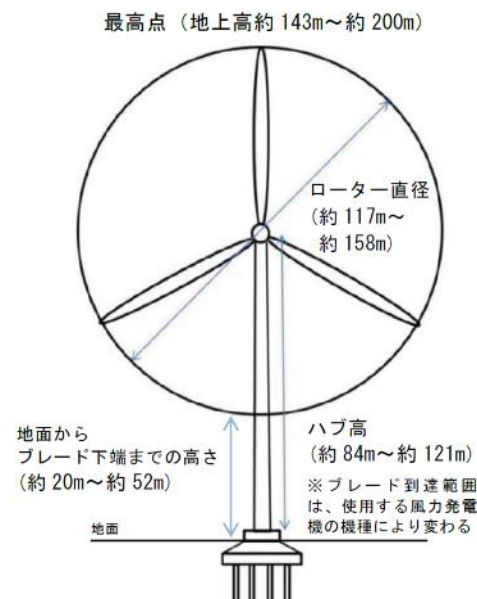


■ 案件概要(想定)

事業予定地	北海道・小樽市及び余市町にまたがる国有林地内
総発電出力	116.1MW
系統連系・電力販売先	北海道電力
商業運転開始時期	2029年春
事業期間	運転開始より20年間(2049年まで)

■ 風車の設備概要(想定)

定格出力	4,300kW～5,500kWを想定
設置基数	最大27基
ブレード枚数	3枚
ブレードの回転直径	約117～158m
ブレードの中心までの高さ	約84～121m
風車の高さ	約143～200m



※変電設備など、他の発電所に係る設備の内容及び設置場所は、今後の調査や協議を踏まえて、検討を進めてまいります。

事業計画②(二酸化炭素の削減量見込み)



- 本風力発電所出力（総発電出力116,100kW）は約6万世帯分の電力供給量に相当。
- 本事業の稼働による系統電力の代替に伴う二酸化炭素（CO₂）の削減量は、約19万t-CO₂/年。
- これは、トドマツ林約11万haが一年間に吸収する二酸化炭素量に相当。

北電管内で既に動いている発電所を、本風力発電に代替することで、削減できるCO₂量

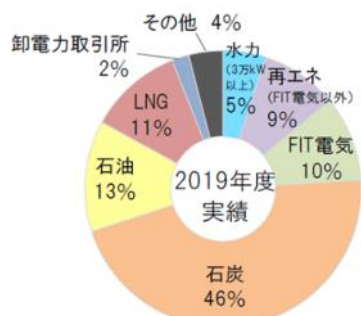
約200,000t-CO₂/年・・・(A)

本風力発電を稼働するために排出するCO₂量（機器製造時、輸送時などCO₂排出量を含む）

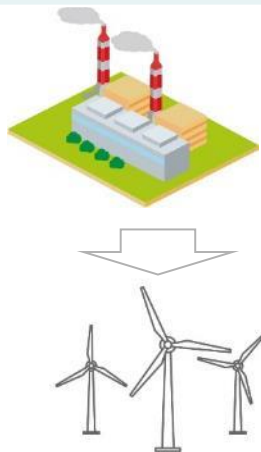
約8,000t-CO₂/年・・・(B)

本風力発電稼働に伴う、CO₂削減量

約192,000t-CO₂/年・・・(A-B)



北海道電力の電源構成



トドマツ林約11万ha分のCO₂吸収量に相当

※トドマツ林約11万ha分 = 小樽市（約2.4万ha）の4.5倍の広さに相当



■ 今後のスケジュール(想定)

- 環境影響評価手続の過程で、北海道・小樽市・余市町などの関係行政及び住民の皆様から頂いたご意見等を踏まえながら、本事業による環境影響を勘案し、事業計画を検討してまいります。
- 国有林地の利活用許可、及び建設開始に必要なその他の許認可を受領・取得した後に、事業実施を最終決定し、工事を開始致します(2024年春ごろの着工を目指します)。

項目/年	2020	2021	2022	2023	2024	～	2028	2029
風況調査		→						
環境影響評価手続	→							
国有林利活用手続	→			→				
工事					→			
運転開始								→

※上記スケジュールは今後の協議や各種手続の進捗により、変更の可能性がございます。